

# 都村敦子先生のご退職にあたって

経済学部長 柿 元 純 男

中京大学経済学部が発足したのは今から19年前である。都村敦子先生が日本社会事業大学から中京大学経済学部に着任されたのは、1998年4月であった。発足当時の慌ただしさが少し収まった頃であった。当時、経済学部では当初着任された先生方の退職の時期にあたり、新たな体制、特にカリキュラムの改正に取り組んでいた。バブルが崩壊し、少子高齢化が進み、年金等の社会保障の問題がクローズアップされており、経済学部でも、ぜひこのような科目をカリキュラムに取り入れたいと思っていた時期であった。

さて、都村先生には、「社会保障論」と「社会保障制度論」を講義して頂いた。先生の講義は、医療保険、年金保険、雇用保険、介護保険等広範囲な制度論から理論まで包含し、学生の間でもっとも人気のある講義の一つであった。また、先生のゼミの人気には驚かされた。これも先生の温和で優しい人柄を表している証拠でもあります。

更に、都村先生は、講義だけでなく、さまざまな委員会でも貢献された。いつだったか、教育懇談会（これまでの父母会）でご講演をお願いしたことがあった。講演を聴いた在学生の父母の方々から賞賛の声が上がっていたことを思い出しております。

他方、学外での社会活動におけるご活躍も顕著であった。さまざまな政府委員、たとえば、厚生労働省の社会保障審議会、年金審議会、障害者雇用審議会、神奈川県個人情報保護審査会等、ご活躍の場は広範囲であった。

このような都村先生がこの3月でご退職されるのは中京大学にとりまして多大な損失であり、非常に残念なことであります。しかし、来年度の非常勤をお願いしたところ、快くお引き受けして頂きました。大変嬉しく思っております。

都村先生のご退職にあたり、先生に心より御礼を申し上げますとともに、今後とも中京大学のためにご指導ご鞭撻をよろしくお願い致します。最後に、都村先生のご健康と、より一層のご活躍を心よりお祈り申し上げます。